

命吹き込む、男の芸術

第3回二戸チェンソーアート大会（市商工会青年部主催）は11月7、8日の両日、金田一温泉郷くつろぎ広場で開かれました。東北各地、遠くは愛知県から合わせて10人が参加。迫力かつ繊細なカービングを披露し、会場を沸かせました。（写真は乗上駿さん「古の記憶」（二戸市））



広報

へのこ

No. 239

2015. 12.1



瑞宝双光章

- 医療従事 -

元県立中央病院診療放射線
技師長
たかはし りきお
高橋 力生さん
(82歳、金田一)

高橋さんは、昭和30年に診療エックス線技師免許を、昭和44年に診療放射線技師免許を取得。約50年の長きに渡り県立病院で医療活動に従事しました。また、昭和50年から定年の平成3年までは県立北陽病院（現・一戸病院）、福岡病院（現・二戸病院）、中央病院で診療放射線技師長を歴任。高橋さんは「素晴らしい先輩後輩に恵まれた」と振り返ります。また、若き後輩技師へは「患者さんへの思いやりを1番に考えてほしい。切磋琢磨しながら前向きに取り組んで」とエールを送ります。

平成27年秋の叙勲・褒章受章者がこのほど発表され、市内から3氏が選ばれました。受章された皆さんを紹介します。

秋の叙勲・褒章



瑞宝単光章

- 消防 -

元二戸市消防団分団長
たちばな かずなり
立花 一成さん
(72歳、石切所)

立花さんは昭和42年4月、福岡町消防団へ入団して以来41年の長きに渡り消防活動に尽力。平成6年から退団した21年3月までは、二戸市消防団分団長を歴任しました。活動を振り返り「石切所村松の山火事が印象深い。夜を越えても燃え続ける大きい火事だった。坂本方面に広がる恐れがあったので、自衛隊も出動しました」と話します。また、入団者が少ない現状を心配し、「若い人は仕事も忙しいと思うが、地域を守るためにぜひ入団して活躍してほしい」と期待を込めます。



藍綬褒章

- 調停委員 -

いずみやま しげる
泉山 殖さん
(65歳、堀野)

泉山さんは平成8年4月から今日に至るまでの20年、盛岡家庭裁判所二戸支部で調停委員を務めています。離婚、親族や兄弟姉妹間の遺産相続、サラ金の問題など、困難を抱える多くの人と接し、話をします。これまでの仕事を振り返り「当事者の心情を思うと心を痛めることが多い。けれども、相談者一人ひとりが納得いく結論を導けるよう努めている」と話します。

調停委員の定年は70歳。「これからも最善を尽くしたい」と気持ち新たに任務にあたります。

広報にのへ 12月1日号 CONTENTS -目次-

- 2221 20 21 19 18 17 161310 0804030201
- チエンソーアート大会
- 秋の叙勲・褒章
- 合併10周年記念式典
- 新総合計画案のお知らせ
- 二戸市文化祭&
- こるしまつり2015
- にのへトピックス
- News&Information
- 風光る 日ノ沢穂さん
- (有)コラージュ
- こみゆにTeaたいむ
- 今やらねば
- 田中館愛橋の生涯⑰
- こしゃーる
- 小さな美術館
- 図書館情報
- マイ・トレジャーズ
- ピカケ・フラサークル
- GO!GO!!いわて国体
- びかっとニュース
- 慶弔・休日当番医など
- 施設の中はどくなってるの?!



イラスト：きり光乗

合併10周年 記念式典

平成18年1月1日、旧二戸市と旧浄法寺町が合併し誕生した本市。合併10周年の節目を祝い、11月3日に記念式典が開かれました。



記念式典は市民文化会館で開かれ、関係者や市民ら約600人が出席しました。

オープニングは、新市10年の歩みを映像で振り返り、劇団「アイキッズ」を中心とした小中学生が、市民憲章をテーマに歌を披露しました。その後、藤原淳市長は「人口減少の壁に立ち向かうため、雇用を創出することにも子育て世代や高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。先人が育んだ二戸市を後世につなげるための人づくりが私たちの使命」と式辞を述べ、市勢発展への決意を新たにしました。式典の最後は教育、民生、産業などの分野で多大な功績を残した本年度の市勢功労者2団体21人を表彰しました。

式典終了後は、浄法寺漆を活用し、文化財の修復を手掛ける(株)小西美術工芸社のデービッド・アトキンソン社長が記念講演を行いました。「うるしは英語でJAPANというが、中身はCHINAじゃないのか?」と、国内使用量の9割(約50ト/年)を中国から輸入している現状を鋭く指摘。社長はかねてより、日本の有形文化財の修復に中国産漆が使用されていることに疑問を呈しており、文化庁



へ国産漆の使用を再三にわたって要請してきました。「日本の文化財を国産漆で修復するのは当然」と話します。そして同庁はことし2月、国宝や重要文化財建造物の修復に国産漆を使用するよう県教委へ通知しました。

アナリストでもある社長は日本のGDP生産に触れ「日本の観光産業はまだまだ伸びしろがある。人を呼び込むためにも国産漆で正しく文化財を修復し、その価値を真に理解してもらおう、こたわるべき。まずは中国産漆に代わる年間50トの生産を目指して」と需要拡大が必須な現況下で、浄法寺漆のさらなる可能性を説きました。

平成27年市勢功労者

詳しくは、広報にのへ12月15日号でお知らせします。



特別功労▷小原豊明さん

自治功労〔議会議員〕▷大沢孫吉さん、佐藤純さん、鷹場美千雄さん、西野省史さん

教育功労〔体育〕▷國分正男さん、宮永茂良さん〔芸術文化〕▷県立福岡高校書道部、菅原孝平さん、沼井芳子さん、宮澤正治さん〔教育〕▷

田村幸司さん

民生功労〔医事〕▷金田一操会、阿部年昭さん、内沢幸子さん、菅弘志さん、齋藤政孝さん〔民生〕▷藤原守信さん〔交通安全〕▷佐藤弘さん
産業功労〔産業〕▷工藤桃さん、滝沢正一さん、中野喜雄さん、山本四郎さん

新しい総合計画案の概要をお知らせします



みんなの夢（30年後の未来像）

人が輝き 未来をひらくまち「にのへ」

第2次二戸市総合計画 (H 28 ~ H 37 10年間)

基本構想 (H 28 ~ H 37 10年間)

前期基本計画 (H 28 ~ H 32 5年間)

市は、平成28年度からスタートする新しい総合計画を策定しています。新しい総合計画では、人口減少問題などの課題に対応しながら、暮らしやすいまちの実現に向けて、市民や民間の人々と一緒に取り組みを進めていきます。

第2次二戸市総合計画（案）

みんなの夢（30年後の未来像）

人が輝き 未来をひらくまち「にのへ」

基本構想

みんなの目標

「挑戦します！」

次代へ紡ぐふるさとづくり

目指す姿

- ① 人が育ち暮らしを支えるまち
- ② 協働で暮らしやすさを実現するまち

人口減少に立ち向かう視点

- ① 人口減少に歯止めをかける
- ② 人口減少に対応する

総合計画の4本の柱

- ① しごとをつくる
- ② 子育てを支える
- ③ 暮らしを守る
- ④ まちをつくる

総合計画で目指す姿

1. 人が育ち暮らしを支えるまち

地域の活力や魅力を生み出すためには、様々な場面でリーダーとなる人の力が重要です。

あらゆる分野でこのような「人づくり」の好循環を創り出し、人が暮らしを支えるまちを目指します。

2. 協働で暮らしやすさを

実現するまち

人口減少に負けない輝くまちをつくるためには、たくさんの人が同じ方向を向き、同じ気持ちで取り組むことが大切です。

このことから、市民の皆さんが積極的にまちづくりに関わり、行政も現場に向いて一緒に考え力を合わせながら、元気で暮らしやすさを実感できるまちを目指します。

人口減少に

立ち向かう視点

1. 人口減少に歯止めをかける

人口減少の大きな要因として、若い世代の流出と合計特殊出生率（注1）の減少傾向が挙げられます。

人口減少に歯止めをかけるため、次の取り組みを進めます（表1）。

（注1）1人の女性が生涯に何人の子供を産むかを表す数値。15〜49歳の女性の年齢別出生率を合計したものである。（引用：ブリタニカ国際大百科事典小項目事典）

表1

取り組み	取り組みんだ成果
雇用の創出、所得の向上	若者・女性の定住が進んでいる
結婚・子育て支援の充実	出生数が増加している

2. 人口減少に対応する

人口減少は、高齢化率の上昇に伴う死亡数の増加など、構造的な減少要因もあり、ある程度まで進むと予想されます。

人口が減少する中で、活力を維持しながら魅力的なまちづくりを行うため、次の取り組みを進めます（表2）。

表2

取り組み	取り組みんだ成果
すべての分野での人づくり	各分野のリーダーが地域を盛り上げている
市民参画、市民協働	市民、地域、民間が協力して行動している

総合計画4本の柱と

前期基本計画の主な取り組み

1・しごとをつくる

しごと・産業・交流
地域特性を活かし豊かで活力に
満ちた産業のまちづくり

本市の特色ある資源に磨きを
かけ、既存産業はもとより新た
な産業創出を支援し産業振興と
雇用の創出を図ります。

地域内の産業連関などにより、
地域外から資金を獲得すると
もに、地域内での循環に結び付
け、地域全体が潤う取り組みを
進めます。



【主な取り組み】

農業・林業

雇用できる経営体の育成及び集落営農、
法人化の推進
うるし

浄法寺漆のブランド力の向上とユネスコ
文化遺産への登録を目指す

2・子育てを支える

子ども・若者・女性
若者・女性がいきいき輝き子ども
の声があふれるまちづくり

子育て環境の整備や負担軽減
を図るとともに、女性のワーク・
ライフ・バランスの改善や相談
体制の整備・充実を図ります。

また、子どもが社会情勢の変
化に対応できる「生きる力」を
育むとともに、小さいころから
本市の良さや魅力を伝え、郷土
を愛する教育を推進します。



【主な取り組み】

子育て

子育て支援の充実による負担感の軽減
学校教育

郷土に対する理解や愛着、誇りを持ち次
代を担う人材の育成

二戸市総合計画（案）に関する意見を募集します。

【閲覧場所】 市ホームページ、市情報公開コーナー、浄法寺総合支所および各出張所

【提出方法】 郵送、持参、FAXまたはE-mail

3・暮らしを守る

暮らし・安心・健康

健康で安心できる暮らしで笑顔
がいつばこのまちづくり

低年齢からの生活習慣病予防
や運動習慣の定着、高齢者の生
きがいつくりなどにより健康寿
命の延伸を図ります。

先人が培った歴史や文化、伝
統、世界につながるスポーツな
どにより、地域内外で多種多様
な交流を創出し、市民が生活に
豊かさや潤いを感じるまちづく
りを進めます。



【主な取り組み】

健康

運動の習慣付けや若い時からの生活習慣
予防

歴史・伝統

天台寺の保存修理や九戸城跡の環境整備
などによる歴史資源の活用



4・まちをつくる

地域力・行政力・協働

みんなの力で満足度・幸福度が
高い協働のまちづくり

あらゆる分野で未来に向けた
人づくりを推進するとともに、
地域全体が連携し、人材育成や
まちづくりを支援する中間支援
組織の育成を図ります。

まちづくりを支えるための道
路や施設など、より市民生活に
身近な社会基盤の計画的な促進
を図ります。



【主な取り組み】

人づくり

市場産業や農業分野、地域を支えるリー
ダーなどの人材育成

市民参画

まちづくりワークショップの開催など
による地域の課題解決を考える機会の創出



※意見を提出する際は、必ず氏名、住所、電話番号を明記してください

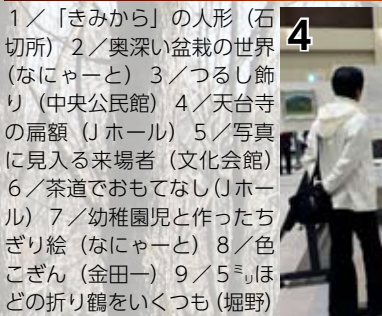
[問い合わせ・提出先] 〒028-6192 二戸市福岡字川又47 政策推進課 (内線312、FAX: 25-5160、

E-mail: seisaku@city.ninohe.iwate.jp)

[応募期間] 12月25日(金)まで

芸術、文化にふれた3日間

二戸市文化祭



平成27年度「二戸市文化祭」は10月31日～11月2日の3日間、市民文化会館やなにやーと、Jホール、各公民館ほかで開かれ、市内の団体などが日ごころの活動成果を発表しました。

会場には、絵画や写真、書道、水墨画、手芸、陶芸、ちぎり絵、生け花、盆栽、菊花、こぎん刺しや木工など、多彩なジャンルの作品がずらり。各会場に訪れた来場者は、その完成度の高さに感心しながら見入っていました。

また、浄法寺文化交流センターでは「天台寺扁額が語る衆民への祈り」と題し、修復工事において取り外されている扁額を特別展示。扁額は、門戸や室内などに掛ける細長い額のことです、このたびの修復工事で初めて取り外したところ、今からおよそ240年前の1773（安永2）年に、当時の福岡代官・大巻秀詮が呼びかけ、それに賛同した浄法寺や福岡町、現在の一戸町や八幡平市などの商人らが奉納したものであることが判明したものです。来場者は、当時の人々の天台寺への信仰心の深さを感じている様子でした。

福田繁雄の世界、1970年代の作品にふれる

～シビックセンター秋の特別展

シビックセンター秋の特別展「フクダ・モード70's」は11月1日～15日に開催され、本市ゆかりのグラフィックデザイナー・故福田繁雄さんが1970年代に製作したTシャツやネクタイ、タペストリーなどの布製品や革製品などを展示しました。

青森県から観光でデザイン館を訪れた河村裕一郎さんと黒石有毅さんは「教科書などで見ていた有名な作品を見ることができてよかった。特別展の作品は、デザインが不思議。見ていて飽きません」と、作品に引き込まれている様子でした。



お風呂で遊ぶための工夫が施された「バスアニマルズ」

つなぐ、つながるウルシの輪 うるしまつり 2015



1/豪華なコレクション 2/真剣に匙づくり 3/「小さなお椀屋さん」に並ぶ品々 4/県立福岡高浄法寺校の生徒が作った椀も展示 5/梱包時に出荷用の樽にのせる輪っかづくりは、日本うるし掻き技術保存会の工藤竹夫会長などが指導 6/バラエティ豊かな箸 7/木の適切な管理について学びました

うるしまつり2015は11月7～15日、浄法寺総合支所ほかで開かれました。

期間中は漆芸家・故なかにし正さんの漆器コレクションの展示、匙や箸づくりなどのワークショップ、町内の住家などに漆塗りの椀や箸の売店を開くなど、多彩な催しで市内外から訪れた来場者を楽しませました。

13日にはふるさと文化財の森、浄法寺漆林などでウルシの木の保育管理研修会を開催。およそ30人が参加し、木の育て方や、病気からの守り方を学びました。

14日開催された匙づくりワークショップに参加した佐藤徳香さん(栗石町)は「漆に興味があり浄法寺を訪れた。匙づくりは難しかったが、漆を塗って仕上げてもらったことにしたので、でき上がりが楽しみ」と満足げな様子。また同日、大学の学習の一環で訪れた日影倫久さん(岩手県立大3年)は「漆器は使い込んでいくうちに味が出てくる、と聞いて興味があった。今日もたくさんさんの漆器に目移りしました。社会人になったら、ぜひ購入したい」と目を輝かせました。

「漆染め」でスカーフ、バッグ作り体験

～シルバー人材センター浄法寺支部

二戸市シルバー人材センター(堀口眞佑理事長)浄法寺支部は10月、ウルシの木から作りだされる染料を使い、エコバッグの絵付けや漆染めスカーフづくりの体験会を開きました。漆染めに使用する染料は、掻き終わって伐採したウルシの木の活用法の一つ。木の芯の部分チップにして煮詰めた液体を、銅やすず、鉄などの媒染剤と合わせることで、さまざまな色が作り出されます。

体験会で参加者は、エコバッグに下絵を切り抜いた型を使って色をつけたり、スカーフをお好みの色で染めるなどして、製作を楽しんでいました。



エコバッグに丁寧に絵を描いていく参加者



への トヒックス

●身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報をお待ちしています。
情報管理室 ☎ 23-3114 (ダイヤルイン)、FAX 22-1195

新 福岡中学校新校舎落成式 校舎で永遠の躍進誓う

平成 24 年度着工の福岡中学校全面改築事業が完了したことを受け 11 月 21 日、同校において落成式が行われました。

だんだんホールやデッキテラスなど交流・集いの場、屋内プールや夜間照明設備のある屋外運動場、避難所に必要な機能を強化した屋内運動場など、県内屈指の新校舎。

藤原淳市長は「主人公はあくまで生徒一人ひとり。明るく活気に満ちた学校生活を送って」と式辞を述べると、千葉康彦校長は「先人たちが築いたこの場所で地域に誇れる学校にしていく。永遠に学び続け躍進していこう」と謝辞を述べました。最後は出席者全員で校歌を歌い、さらなる躍進に弾みをつけました。



生徒は新校舎完成を記念し作られた歌「軌跡」を合唱



「出だし好調！このまま最後まで～!!」(りんごの皮むき大会)

り 金田一観光りんご園収穫祭 りんごづくしの特別な日♪

金田一温泉観光りんご園収穫祭(金田一温泉協会主催)は 11 月 8 日、金田一温泉センター前駐車場で開かれました。この日はあいにくの雨模様でしたが、市内外から立木のオーナー、「もぎ取り体験」希望者が集まり、収穫を楽しみました。また、りんごの皮むき大会やりんご大会などイベントも充実。販売コーナーにもぎわいをみせました。東京都板橋区のハッピーロード大山商店街のツアーで市を訪れた鈴木良治さん、和代さん夫妻は「二戸は果物もコメも、何を食べてもおいしい！リンゴの収穫も初めて！」と二戸を存分に堪能した様子でした。

10 金田一保育所「すみれ農園」が10周年 年目の、ダイコン掘り！

金田一保育所（荒谷真弓所長）は11月6日、「すみれ農園」でダイコン掘りを行いました。すみれ農園は、元・民生委員の藤原守信さんや、金田一地区の民生委員らが運営し、こととして10年目。園児は手づくりの“感謝状”を藤原さんに贈呈し、日ごろの感謝を伝えた後、大きく育ったダイコンを次々に掘り出し、重そうにしながらも笑顔で抱えていました。下川莉子ちゃんと永田滯ちゃんは「すっごく重いけど、おいしそう」と顔をほころばせていました。



感謝状を手に「ありがとう、宝物にするね」と藤原さん（中）

担 高田将洋さん、東北農業青年会議出場報告 い手の情報発信、頼もしく

高田将洋さんは、10月に行われた第46回東北農村青年会議秋田大会・意見発表の部において最優秀賞を受賞しました。高田さんはUターン後に農業の担い手となり、カシオペア4Hクラブの一員として地元の農産物を積極的にPRした事例などを紹介。担い手による情報発信の必要性などを訴えました。11月2日には藤原市長を訪問し、受賞を報告。藤原市長は「若い担い手による情報発信はとても大切で頼もしく感じる。これからも続けて」と激励しました。



大会をふり返る高田さん（中）と担い手仲間の荒谷直大さん（左）



映画上映後に開かれた試飲会では200人の参加者とカンパイ！

南部美人・久慈社長出演映画が来春公開

戸と日本酒を世界に伝える

福岡の酒造会社(株)南部美人の久慈浩介社長らが出演したドキュメンタリー映画『KAMPAI! FOR THE LOVE OF SAKE』（小西未来監督）は10月25日、第28回東京国際映画祭でアジア初上映されました。映画は来春公開予定。蔵での酒造りの様子とともに馬淵川、愛宕神社などの風景も魅力的に描かれ、国内外に二戸市がPRされる内容となっています。久慈社長は「世界に日本酒や岩手の魅力を伝えていきたい」と決意を新たにしていました。



花を手向け、犠牲者の鎮魂を願いました

戦 平成27年度二戸市戦没者追悼式 いのない恒久平和を願い

戦没者追悼式は10月30日、市民文化会館で開かれ、遺族ら約250人が参列し、1,030余人の犠牲者を悼みました。全員で黙とうをささげた後、藤原市長は「戦争の惨禍を繰り返さず、平和なまちづくりを誓う」と式辞を述べ、市遺族会の坂本悟会長は「恒久平和を願い、戦争の悲惨さを子や孫に引き継ぐ体制づくりを進めていきます」と追悼の言葉を述べました。出席者らは会場に設けられた献花台に花を手向け、静かに鎮魂を祈りました。

「とっこナイト」

戸駅前を、熱く！

とっこナイト（石切所にぎわい創出事業実行委員会主催）は11月13～20日の8日間、二戸駅前周辺で行われました。13日の開会行事で梅田博美^{ひろみ}会長は「さみしいと言われてきた駅前だが、今後もイベントを続け、盛り上げたい」と決意。また石切所小マーチングバンドが3曲を披露し花を添えました。

期間中、通りはイルミネーションや行灯でライトアップ。抽選で豪華景品が当たる飲み歩きラリーなども催され、にぎわいをみせました。



とっこナイトの開幕に花を添えた石切所小マーチングバンド

卓越した技、目で見てふれて

二戸の工芸・手仕事展

二戸の工芸・手仕事展は11月14、15日になにゃーとで開かれました。今回は二戸地区や秋田県鹿角市などから、木工や竹細工、手芸、ステンドグラスなど19組が多彩な作品を展示。実演販売や体験コーナーも設けられ、来場者はその卓越した技に見入っていました。

また、浄法寺漆や一戸町の竹細工の歴史にふれる特別コーナーでは、漆掻きの道具や漆塗りの秘伝書、数十年前の竹細工のいすなどが展示されました。



木工「組子細工」の手づくりリセットを体験。もう夢中！



反射材を装飾したリメイクファッションを披露
第42回二戸地方交通安全大会

反射材を活用し夜間も安全に

二戸地方交通安全大会（二戸地方交通安全対策協議会主催）は11月18日、シビックセンターで開かれ、参加者らは交通安全への意識を新たにしました。大会では二戸警察署交通課の近藤良幸^{よしのき}企画係長が6色のコーンを使い、夜間、暗色がいかに見えにくいかを説明しました。また交通安全関係団体の女性会員らが反射材を装飾したリメイクファッションを披露。参加者はクリップライトを照らして反射材の有用性を確認しました。



食生活改善推進協議会は減塩アイデアレシピを紹介
健康フェスティバル

考えよう「脳卒中の予防」

健康フェスティバルは11月22日、なにゃーとで開かれました。今回のテーマは「脳卒中の予防」。味噌汁の塩分測定や減塩レシピの紹介などで、毎日の食生活を見直すアドバイスなどを行いました。また、健康相談や骨密度、血圧の測定、子どもたちの工作体験など多彩なブースが並びました。消防はしご車に乗る体験をした下川歩来未^{ほなみ}さん（金田一小2年）は「市内をぐるっと見渡すことができて楽しかった。怖くはなかったです」と笑顔を見せました。

「げっぱそり」を親子でつくろう！

木製のかじ取りそり「げっぱそり」をつくって、げっぱそりレース大会に参加しませんか。貸し出し用のそりでレースのみの参加もできます。

【げっぱそりづくり】

日時 平成 28 年 1 月 10 日（日）午前 10 時～午後 3 時

場所 カシオペアメッセなにゃーと・メッセホール

対象 小学生とその保護者（祖父母可）先着 15 組

参加費 2,500 円（子どもレース大会参加費込み）

持ち物 おにぎり、かなづち、ドライバー、のこぎり

※道具がない場合は申込時にお知らせください

【げっぱそりレース】日時 平成 28 年 1 月 31 日（日）

部門 子どもの部（小学生）、大人の部（中学生以上）各 15 人

参加費 1,000 円

申込期限 12 月 31 日（木）※そりづくり、レースとも

問い合わせ、申込先

よりんせ金田一事務局・嶋野（☎ 27-4497）

ニュース

谷地大滝周辺、一層きれいに

下海上の谷地大滝をきれいにする会（栗林孝安会長）は、地域の宝「谷地大滝」周辺を整備し、地域住民や市民みんなの憩いの場をつくろうと、昨年からの東屋の建設や砂利敷きを行ってきました。



谷地大滝周辺を整備した会の皆さん

このほど、東屋内のテーブルやベンチが完成。草刈りや枝打ちなどを行い、周辺環境を美化しました。栗林会長は「すばらしい滝に親しみ、みんなで集える場所になれば」と、今後の活用を期待を寄せます。

募集

こどもふるさと教室

五穀豊穡を願い、一緒にみずき飾りに参加しませんか！

日時 平成 28 年 1 月 10 日（日）午前 9 時 30 分～午後 3 時

場所 石切所公民館

対象 小学生

（幼児・低学年の皆さんは保護者同伴をお願いします）

内容 みず木かざり、紙芝居、昔の遊び、おもちゃ作り

（協力：こぶしの会、地域ボランティア）

参加料 1 人 500 円（おもちゃ材料費、肉汁、おやつ代など）

定員 30 人 **持ち物** おにぎり、上ばき

申込期限 12 月 21 日（月）

問い合わせ、申込先 石切所公民館（☎ 23-3990）

ニュース

防火パレードで注意喚起！

二戸市消防団は 11 月 8 日、平成 27 年秋季全国火災予防運動（期間：11 月 9 日～15 日）に先立ち、二戸消防署で防火パレード出発式を行いました。出席した藤原市長は「冬場は火の取り扱いが増える。消防署とも連携し合



真っ赤な消防車両が連なり防火を呼び掛け目を引くパレードとなりました

い、今後も防火活動をお願いしたい」と激励しました。

出発式の後には、「火の用心」と書かれたのぼりを設置した 46 台の消防車両が 6 班に分かれ市内をパレード。秋季火災予防運動の広報活動を行いました。

募集

「新・にのへ物語X」第 6 回

テーマ 「うるしの話（3）」

文化庁は 2 月、国宝・重要文化財、建造物などの保存修理に国産漆を使用する方針を発表しました。国産漆の約 7 割を生産している浄法寺漆は今、ますます注目を集めています。

「うるし」って何？から、これまでの市の取り組みまで、わかりやすく紹介します。「うるし」について一緒に勉強しませんか。入場は無料です。

日時 12 月 20 日（日）午前 10 時～11 時 30 分

場所 中央公民館 **講師** うるし振興室 中村景子 主事

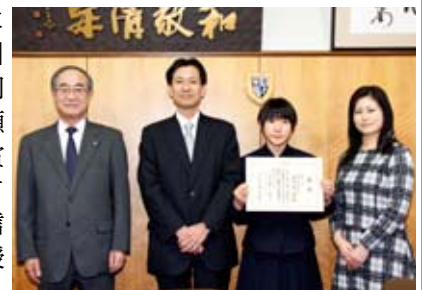
定員 25 人

問い合わせ、申込先 二戸歴史民俗資料館（☎ 23-9120）

ニュース

「税に関する作文」で受賞！

国税庁主催の「税に関する高校生の作文」でこのほど、県立福岡高校 1 年の柗木菜々瀬さんが二戸税務署長賞を受賞。同校において 11 月 12 日、佐々木信義署長より表彰状の授与が行われました。



目時一哉校長（左）、教科担当の武田麻紀子教諭（右）が見守る中、表彰状の授与が行われました

同校 1 年生は夏休みの現代社会の課題として作文に取り組みまし

た。全国から約 20 万編の応募があった中から見事入賞を果たした柗木さん。「税によって当たり前な生活が支えられていることへの感謝を書きました」と話し、受賞を喜びました。佐々木署長は「これを機に、もっと税に関心を持ってもらえたら」と、今後の活躍に期待を寄せました。

12 月 10～16 日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。生命と安全に関わる拉致問題の解決を始めとする、北朝鮮当局による人権侵害問題について関心と認識を深めていくことが大切です。

北朝鮮の人権侵害問題の詳細については、ホームページをご覧ください。（<http://www.rachi.go.jp/>）

問い合わせ先 福祉課（☎ 23-1313 内線 234）

～おかげさまで開局 10 周年～

カシオペア FM 25 時間生ラジオ !!!

放送日時 12月18日(金) 午前0時～19日(土) 午前1時
テーマ 「25時間ラジオ ここまで10年、これから10年」
 “身の回りの10年”をテーマにメッセージを募集します。
 お便りをくれた皆さんの中から抽選で豪華賞品をプレゼント!
問い合わせ、応募先 カシオペア FM (FAX: 23-8784、
 E-mail: 1@779.jp)

募 集	ジュニア食育講座・ビギナーズ料理塾
<p>- ジュニア食育講座 - 日時 12月26日(土) 午前9時30分～午後0時30分 内容 お正月メニューを作りながら「食の大切さ」について学びます 場所 中央公民館 募集人員 20人(定員になり次第締め切ります) 対象 小学1～6年生 ※1～3年生の児童は、保護者と一緒に申し込みください 講師 健康推進課 上柿智佳子管理栄養士 持ち物 エプロン、三角巾 参加費 500円 申込期限 12月18日(金) 問い合わせ、申込先 中央公民館 (☎ 23-2870)</p> <p>- ビギナーズ料理塾 - 日時 12月10日(木) 午後6時30分～9時 テーマ・内容 「適正エネルギー」とクリスマス料理 場所 総合福祉センター 対象、募集人数 10～30代の人、20人 持ち物 エプロン、三角巾、お米1合 申込期限 12月8日(火) 問い合わせ、申込先 健康推進課 (☎ 23-1313 内線 224)</p>	

募 集	第44回書き初め大会
<p>日時 1月5日(火) 午前10時～11時(受付は午前9時～) 場所 二戸体育館(福岡字長嶺) 対象 小学1年生～一般 参加費 無料(清書用条幅紙は、当館で用意します) 持ち物 習字用具一式、練習用紙、新聞紙、上履き、ふきん、ゴミ袋 課題 小1「かるた」、小2「たこあげ」、小3「正しい心」、小4「美しい空」、小5「光る大地」、小6「希望の朝」 中学生「雄大な自然」※楷書、行書どちらでもよい 高校生・一般「四海生春風」※書体自由 ※各課題ごとに特選・入選・佳作を表彰します 申込期限 12月18日(金) ※小中学生は各学校を通して申し込みください その他 展示期間: 1月6日(水) 午前9時～午後1時 表彰式: 1月6日(水) 午前10時 問い合わせ、申込先 中央公民館 (☎ 23-2870)</p>	

三圏域連携事業 久慈★トピックス

ウィーン=ベルリン ブラス・クインテット
 ウィーンとベルリン・フィルのトップ奏者たちがオーケストラの垣根を越えて集結した夢のアンサンブル。
 素晴らしい音響を誇るアンバーホールで、世界最高峰の響きをお楽しみください!


日時 12月16日(水) 午後6時30分開演
場所 アンバーホール
料金 一般3,500円、高校生以下2,000円
 ※全席指定、当日500円増
問い合わせ先
 アンバーホール
 (☎ 0194-52-2700)



お知らせ

第39回福田繁雄企画展

第39回企画展として、福田繁雄の「字空探検」+ JAGDA 岩手地区会員による復興応援グラフィックデザイン展「発・見・団」を開催します。期間中は市民ホールで、デザインを学ぶ学生による作品展も併設します(無料)。
期間 12月5日(土)～3月27日(日)
会場 シビックセンター福田繁雄デザイン館、市民ホール
入館料 一般・高校生 200円、小中学生 100円
その他 子どもたちにグラフィックデザインへの興味を抱かせようと、このほど開催した市内小学生による《あなたの「〇〇ち」を描こう! デザインコンテスト》の作品を12月5日(土)～1月17日(日)まで市民ホールに無料展示します。
問い合わせ先 シビックセンター (☎ 25-5411)



募 集	かるた教室
<p>日本の伝統、かるた(百人一首)を通じて日本語の美しさに触れ、楽しみながら記憶力や集中力を高めてみませんか。 日時 1月9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、2月6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)、20日(土) 場所 中央公民館 対象 年齢制限なし ※見学も歓迎! 講師 二戸かるた協会会員 参加料 無料 申込期限 1月7日(木) 問い合わせ、申込先 中央公民館 (☎ 23-2870)</p>	

まごみ訪問マッサージ

医療保険を使った訪問マッサージを行っています。
 患者様やご家族の方の不安を少しでも解消できます様、無料体験という形でマッサージ治療を体験して頂いています。
 ご不安や疑問に対して、納得頂けるまでご説明させて頂きます。
無料体験マッサージを行っています。まずはお電話ください。
☎0195-43-3170 家庭で出来るマッサージをご紹介しています。
 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)
当社の施術者は全て国家資格取得者です。安心して施術をお任せ下さい。
 医療保険を使う場合は、医師の同意書が必要です。
 【二戸店、九戸店、久慈店】
あんな・マッサージ・指圧師募集!
 まごみのマッサージ動画配信中! <http://www.magomi.com>

毎週月～金曜日開設
◎子育て支援ひろば◎

絵本貸出し中

園内見学随時受付中!!(お電話ください。)

まつのまるこども園 ☎23-5444
 ☎25-5444
 〒028-6101 二戸市福岡字橋場しあわせ通り19番地

ごみのことならお気軽に ご相談下さい



一般廃棄物 一般ごみ・粗大ごみ・鉄くず他
 産業廃棄物 腐びプラスチック・木くず・石膏ボード・がれき・タイヤ他
 遺品業務もお受けいたします。

(有)リサイクルセンター三戸

本社 (0195)25-5369 軽米支店 (0195)46-4153
 携帯 090-4044-4525 一戸支店 090-4044-8336

お知らせ 【期間延長】乳・子宮がん検診

乳・子宮がん検診の日程を12月26日まで延長します。まだ受けていない人、クーポン券をお持ちの方はぜひこの機会に受診しましょう。受診票の無い人は、健康推進課まで連絡ください。

【個別乳・子宮がん検診】

期間 12月26日(土)(日・祝日は除く)

	川村医院 (☎ 23-3252)	齋藤産婦人科医院 (☎ 23-2505)
受付時間	午前9時～11時30分 午後2時～5時 (木・土曜日午後休診)	午前9時～11時30分 午後2時～5時 (土曜日午後休診) (木曜日午後を希望する方は電話で連絡の上受診ください)

その他 乳がん検診は25歳以上、子宮がん検診は20歳以上の女性を対象です。乳がん検診は、視触診のみとなります。

問い合わせ先 健康推進課 (☎ 23-1313 内線 245)

お知らせ ありがとうございます

【ふるさと納税 10月1日～31日受付分】

まちづくりのために 131件 = 1,870,000円

教育のために 49件 = 881,000円

福祉のために 23件 = 574,000円

以上、203名様より3,325,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。ご芳名は市ホームページで紹介させていただきます。

お知らせ 農業委員会委員任期延長について

9月4日に公布された「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律」による農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、これまでのような選挙制度が廃止されました。平成28年4月1日から活動する農業委員会委員は、議会の同意を得た上で市長が任命することになります。なお、在任している委員の任期は次のとおり変更になりました。

任期 (変更前) 平成27年12月31日まで

(変更後) 平成28年3月31日まで

問い合わせ先 農業委員会事務局 (☎ 23-0181)

求人情報

ハローワーク二戸

11月15日現在、ハローワーク二戸に申し込みのあった求人の中から掲載しました。求人に関する問い合わせは、ハローワーク二戸(石切所字荷渡6番地1 ☎ 23-3341)まで。(□はパート) ◎ハローワークでは随時紹介を行っています。この求人の中には決定済みになっている場合がありますのであらかじめご了承ください。

職種	事業所名
現場監督(建築) <<要資格>> <要経験>	(株)アルバライフ
土木工事現場代理人 <<要資格>>	(株)中館建設
建設工事現場代理人 <<要資格>>	
調理員 □	岩手県立二戸病院
看護師・准看護師(交替制勤務) <<要資格>>	
看護師または准看護師 <<要資格>>	菅整形外科皮膚科クリニック □
看護師または准看護師 <<要資格>>	
看護師 <<要資格>>	(社福) いくつか星会
看護師または准看護師 <<要資格>> [期間あり]	藤田内科
看護職員(准看護師) <<要資格>>	(社福) 共生会
介護職員 □	(株)二戸サントップ
生産管理事務員	(株)三幸堂ビジネス
セールス(事務機センター)	(社福) 麗沢会
介護職員 <<要資格>>	有料老人ホーム赤ずきんあいのの(有)

職種	事業所名
調理員(慶愛荘)	(有)アーヴェリック
栄養士兼調理員(慶愛荘) <<要資格>>	
介護職員(慶愛荘)【夜勤専従】 <<要資格>>	
チキン製造スタッフ	(株)十文字チキンカンパニー二戸工場
製造加工スタッフ	日本一フード(株) □
製造加工スタッフ	
内線電工(見習い可)	馬淵川電気(株)
捕鳥部社員	(株)古館運輸
コンビニ店員(午後3時～) □	(有)恵
紳士・レディース服関連洋品の販売員 □	(株)コナカ二戸店
販売員 □	Foot Line フルダテ
惣菜販売員(おふくろ亭) □	生内商事(株)
ガソリンスタンド店員 □	(有)中館商事
厨房係またはホールスタッフ □	居酒屋 瓢
ホール係 □	有限会社 ツキノキ
仕分け作業員(二戸センター) □	ヤマト運輸(株)二戸支店

《全ホール・宿泊室完備》

にのへセレモニーホール 〒028-5711 二戸市森田一ツハツ長30-6 ☎ 0195-29-1600 FAX 0195-29-1611	福岡セレモニーホール 〒028-6101 二戸市福岡字下町10 ☎ 0195-23-4440 FAX 0195-23-4443	軽米セレモニーホール 〒028-6301 九戸町軽米大字上段15-130-1 ☎ 0195-46-4109 FAX 0195-46-4330	くのへセレモニーホール 〒028-6592 九戸町九戸村大字伊保内3-13-16 ☎ 0195-43-3409 FAX 0195-43-3410
--	---	--	--

玉座グループ にのへ・福岡・軽米・くのへセレモニーホール
24時間受付 ☎ 各セレモニーホールへお電話下さい。

認定こども園ともいき

1号児・2号児 平成28年度
入園説明会
12月21日(月) 11:00～
当園にて

1号児(幼稚園児) 申込受付中
2号児(3～5歳保育園児) 1月12日から受付

社会福祉法人 明照学園
〒028-6101 二戸市福岡字上平27 TEL 0195-23-2530
http://www.kodomoentomoiki.com

有限会社コラージュ

やすき
日ノ沢 穩さん (19歳)

早く一人前になり、一人でも多くのお客さんを笑顔にしたい

一勤めてどのぐらいですか

7カ月になります。4月から半年間、平日は花巻市にある専門の訓練校に通い、土、日曜はサロンで働いていましたが、10月から常勤になりました。

一現在どんな仕事をしていますか

先輩のアシスタントとして、作業がしやすいよう補助や準備をしています。

一自己分析するとどんな人ですか

アドバイスは必ず聞くようにしていて、それを吸収する柔軟性はあると思います…ただ、流されやすい面もあるので、自分の考えをしっかりと持つようにはしています。

一趣味は

一つはダンスです。ダンスは小学校から高校まで続けていて、地元のイベントで踊ったこともあります。もう一つはお菓子作りです。得意なのはチーズケーキで、サロンの皆さんも喜んでくれます。

一理想の男性のタイプを教えてください

難しいですね(笑)…朗らかで、寛容な方がいいです。

一将来の夢は

早く一人前になり、一人でも多くのお客さんを笑顔にしたいです。先輩の技術でお客さんが笑顔になるのを見ていると、すごいなと思います。そして、この仕事を



通じて県北地区に貢献できたらと思います。

一二戸市に対してひとことお願いします

二戸市に住み始めてまだ1カ月強なので、これからもっと二戸市を知りたいです。また、美容師を目指す若い人が減っているので、美容師になりたいと思う人や、興味を持ってくれる人が増えたらいいなと思います。

有限会社コラージュ

石切所字荷渡 22-13 1F
平成15年10月10日創業、従業員数4人。パーマ、ヘアカラー、カット、ヘッドスパやまつ毛エクステなど技術を駆使し、お客様の「きれい」を演出。地域の美容業をけん引する、リーディングカンパニー。



102杯目 こみゅにTeaたいむ

ご利用ください「職員出前講座」

職員出前講座は、市の取り組みや暮らしに役立つ情報など希望するテーマについて、職員等が出向いてお話しします。

新しいテーマに「マイナンバー制度について」が加わりました。ぜひお気軽にご利用ください。

【対象】市内に在住、勤務、通学している5人以上の団体・グループなど

【開催日時】年末年始を除く午前9時から午後9時まで（講座は90分以内）

【講師料】無料

【申込方法】

①「出前講座メニュー」の中から講座名を選びます。講座のテーマは広報にのへ5月15日号3頁または市ホームページをご覧ください。

②希望する日時と講座を、申請前に地域振興課に連絡

ください。講師派遣の担当課と日程を調整します。

③市内の会場を確保してください。なお会場の利用料は利用者負担になります。

④実施日の2週間前までに、申請書を提出してください。

⑤当日の進行などは利用者側でお願いします。

⑥講座実施後に、実施報告書を提出してください。

問い合わせ、申込先

地域振興課（☎23-3115、FAX:25-5160）

＊NPO法人の各種届出は忘れずに

特定非営利活動法人（NPO法人）は、役員の変更、定款の変更、合併、解散を行った際は市へ届出を行う必要があります。

役員の変更には、役員の新任、再任、任期満了、死亡、辞任、解任、住所（又は居所）の異動、改正（又は改名）が該当します。忘れずに届出をするようにしましょう。

NPO法人制度の手引きや各種届出書の様式は、岩手県ホームページよりダウンロードできます。



【3人の田中館教授】

二戸から世界的功績者

二戸市から世界的業績を遺した3人の「田中館教授」が出ている。愛橘、寅士郎、そして秀三である。

田中館愛橘は二戸郡長を務めた稲蔵を父に、東京大学名誉教授で文化勲章受章の地球物理学者。では、他の二人の田中館教授とはどんな人物だろうか。寅士郎は1878（明治11）年生まれ、愛橘の異母弟。一高から東京大学物理学科入学。主任教授は兄愛橘であった。1884（明治17）年生まれの秀三は稲蔵の末弟・与八郎の子で、愛橘、寅士郎の従弟に当たる。三高から東京大学へ進み、地質学科首席卒業で「恩賜の銀時計」を受けた組である。

二人の功績を詳しく紹介する。寅士郎は日本人として「虹の科学史」に名を遺した科学者である。寺田寅彦や愛知敬一などと大学院へ進学し、理論物理学を専攻する。指導した長岡半太郎は寅士郎と愛知に、「虹のスペクトル」を研究テーマに与えた。虹の研究史には、アリストテレスからデカルト、ニュートンまで、世界の天才の名が並ぶ。

寅士郎らは、太陽を「円光源」として新理論を完成させた。1904（明治37）年、時に寅士郎、弱冠26歳の大学院生であった。これにより、虹の数学的理論は一つの完成を見たと言われる。東大講師、秋田鉱専教授、慶應義塾大教授などを歴任したが健康がすぐれず、惜しくも51歳の若さで没した。

次は秀三である。日本の火山・湖沼研究の先駆者であり、昭和新山の名付け親として名高く、万国火山学会初代副会長も務めた。

秀三には「異例」という言葉が似合う。大学卒業と同時に東北帝国大学農科大学（北海道大学農学部）の講師と



二戸が生んだ3人の田中館教授。左から秀三、愛橘、寅士郎。二戸歴史民俗資料館提供

頭した。愛橘は「金のために時間を無駄にするな」と、手紙で激励している。6年後に帰国すると、愛橘の一人娘・美穂と結婚した。

また、第2次世界大戦中のシンガポールでこんな逸話を残している。世界屈指の熱帯植物園である「シンガポール植物園」は、敵国イギリスの文化施設だが、貴重な遺産として戦火か

なり、翌年には早くも教授、そして文部省から独英に留学を命じられた。3年の期間終了後も、ナポリ大学講師などで糊口をしのぎながらベスビオなどの火山研究に没頭した。愛橘は「金のために時間を無駄にするな」と、手紙で激励している。6年後に帰国すると、愛橘の一人娘・美穂と結婚した。

後、ナポリ大学講師

などで糊口

をしのぎながら

ベスビオなどの

火山研究に没

頭した。愛橘

は「金のために

時間を無駄に

するな」と、手

（菅原孝平 二戸歴史民俗資料館館長）

【ミニコラム】 スケール大きい

学者魂

「…何処の国に参り申し候ても、火山学者は自説を主張し自分の信ずる所を何処までも押し通す勇氣は、感心に御座候。これに比すれば日本の如き火山学の、火山学者の勇氣に乏しきは、寒心の至りに候…」と。ちょうど100年前、ナポリ滞在中の田中館秀三から愛橘に贈られた手紙の一節である。「先生のようなスケールの大きい学者は、日本の大学では使いきれなかったであろうか」という趣旨で、秀三の学者魂が垣間見られる。

こしゃーる

～学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり～

後藤のりこさんが語る 子育てのポイント

11月7日、シビックセンターで二戸市教育振興運動集約集会兼二戸市PTA研究大会が開催され、小中学生の保護者らおよそ130人が参加しました。



「まずは親が自分自身を磨きましょう」と後藤さん

実践発表では、御返地小学校実践区と金田一小学校実践区が、家庭や学校、地域が連携して行っている独自の取り組みについて紹介しました。

続いて、フリーアナウンサーでIBCアナウンス学院講師の後藤のりこさんが「家庭教育に生かせる

話し方・聴き方のポイント」と題して講演。2人の子の母親である後藤さんは自身の経験を交えながら、子どもとのコミュニケーションのあり方について言及しました。「子どもは親のことばや仕草、やり取りを見て聴いて感じて育つ。まずは親自身が、自分の気持ちを伝える会話を心掛けること」「子どもがつまづかないように育てるのではなく、『うちの子はつまづいても立ち直れる』と信じるのが大切」と、ことばのプロが語る子育て論に、参加者は熱心に聴き入っていました。

「地域を元気に」思いを共有

11月1日、「地域づくり先進地視察交流会」（青森県教育委員会主催）が開催され、青森県民と市民約50人が参加しました。



住民手づくりの水車小屋を見学

一行は始めに浄法寺町門崎地区を視察。浄門の里づくり協議会の佐藤勤悦代表の案内のもと、地域で運営する産直「浄南ママ直」の見学などを行いました。午後は、ぎばって足沢70の会、二戸健康マージャンボランティア、よりゃんせ金田一の市内3団体が活動を発表。カシオペア連邦地域づくりサポートーズのコーディネートのもと、参加者たちは地域づくりに懸ける思いを共有し、交流を深めました。

平成28年成人式開催のお知らせ

対象者は、平成7年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人で、現在市内に住んでいる人および平成23年3月に市内中学校を卒業した人です。

日時 平成28年1月10日（日）午後1時30分～午後0時30分より受付

場所 市民文化会館大ホール

問い合わせ先 生涯学習課（内線552）

小さな美術館



今回は、二戸西小学校の作品を紹介します

獅子内彩希さん
(1年)



工作「きれいなパレード」

中村 優太くん
(3年)



切り絵「たこあげたのしいな」

小館 彩さん
(6年)



工作「木の実のフォトフレーム」

図書館情報

市立図書館、浄法寺カシオペアセンター 今月の新刊とお知らせ



欧米に寝たきり老人はいない
宮本顕二・宮本冷子 著
終末期高齢者への人工的水分・栄養補給は世界の非常識？スウェーデンの高齢者医療を見てきた著者たちが、日本における高齢者の終末期医療を考える。



終わった人
内館牧子 著
仕事一筋だった田代は途方に暮れた。「定年って生前葬だな。これからどうする」生きがいを求め、居場所を探してあがき続ける男の物語。普遍的テーマをシリアスかつリアルに描く。

〈その他の新刊〉▷ペルシア王は「天ぷら」が大好き？(ダン・ジェラフスキー著)▷悪役(アンドレス・ダンサほか著)▷図解 よくわかる地方議会のしくみ(武田正孝著)▷人類を変えたすばらしき10の素材(マーク・ミーオドヴニク著)▷紋切型社会 言葉で固まる現代を解きほぐす(武田砂鉄著)▷聞き書き 緒方貞子回顧録(野林健・納家政嗣著)▷ボケないのはどっち？(白澤卓二著)▷毎日食べたくなる絶品鍋(大庭英子著)▷だまし犯罪百科(間宮清著)▷25年目の「ただいま」(サルー・ブライアリー著)

◆図書館サービスのご案内

◎雑誌の貸し出し

図書館では、新聞や雑誌、年鑑など、終期を予定せずに刊行される逐次刊行物を読むことができます。現在は新聞5紙、雑誌約90誌などを用意。また雑誌は、最新刊は館内でご覧いただき、バックナンバーを貸し出ししています。

◎図書の予約・リクエスト

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、利用登録している人は、本の予約やリクエストができます。

◆市立図書館 12月の行事

▶第4回郷土史講座(3階視聴覚室)5日(土)午後2時~▶日本古典文学講座(3階視聴覚室)6日(日)午後2時~▶花ぐるまおはなし会(3階視聴覚室)12日(土)午前10時30分~▶かつこう読書会(3階視聴覚室)16日(水)午前10時~▶三浦哲郎文学を読む会(3階視聴覚室)20日(日)午後1時~

〈今月の休館日〉◎市立図書館…7、14、18(館内整理)、21、24、28~1月4日◎浄法寺カシオペアセンター…7、14、21、28~1月4日

問い合わせ先 市立図書館(☎23-3447)、浄法寺カシオペアセンター(☎38-4117)

マイ・トレジャーズ

~はじめませんか、あなたの“宝”さがし~

こんにちは！ ピカケ・フラサークル です！



練習はなごやか、ときに真剣に

私たちは昨年4月に結成したサークルで、フラダンスを踊ることが好きなメンバーが集まり、楽しく活動しております。

現在のメンバーは12人。体力づくりと健康維持のため、毎週土曜日に心地よい汗を流しています。

また、主な活動として年に2回、市内のボランティア団体が主催するイベントに出演しており、イベントに向けて練習に取り組みます。

フラダンスに興味がある方ならどなたでも大歓迎！お気軽に見学、体験をしいらしてください。



イベントにも出演しています

ピカケ・フラサークル

会長 大向則子 会員数 12人

活動日 毎週土曜日 午前9時30分~午後1時

場所 金田一コミュニティセンター

問い合わせ、申込先 会長・大向(☎23-5059)

事務局・根田(☎23-6254)

Go!
Go!!



2016 希望郷 いわて国体

第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

【いよいよ開幕、冬季大会】手づくりのぼり旗でおもてなし！

希望郷いわて国体冬季大会がいよいよ来月、開幕します。

1月27日(水)、28日(木)には、スケート・ショートトラック競技が本市で開催されますが、競技会場などには、市内8小学校の児童の皆さんが心をこめて制作したのぼり旗が飾られます。これは47都道府県それぞれのチームに向けて応援や歓迎の気持ちを伝えるもので、各都道府県の特産品やご当地キャラクターなどがカラフルに描かれています。



競技会場などに飾られる手づくりのぼり旗

いずれも世界に1枚しかないオリジナルのぼり旗。皆さんもぜひ会場に足を運び、観戦とあわせてお楽しみ

ください。

また、このほど選手一人ひとりに配布されるメッセージカード約200枚も完成。表は本市の漆を使って印刷され、裏には二戸の特産品を紹介する絵や、あたたかい歓迎の言葉が添えられています。

全国からたくさんの人が訪れる希望郷いわて国体。皆さんもおもてなしの心で、選手や応援団を迎えましょう。



メッセージカードも心を込め手づくり

※冬季大会・本市の日程

【スケート・ショートトラック】

期日 平成28年1月27日(水)、28日(木)

【デモスポ・カーリング】

期日 平成28年2月7日(日)

場所 県北青少年の家スケート場



二戸警察署のぴかっとニュース

「お先にどうぞ」ステッカー配布作戦

～高齢運転者を交通事故などから～



「追突注意 お先にどうぞ」ステッカー 二戸警察署と二戸市交通安全対策協議会は、高齢運転者の車両などを事故被害から守ろうと企画し10月27日、浄法寺町内で「お先にどうぞ」ステッカーの配布を行いました。

このステッカーはマグネット式の反射材で、高齢者が運転する車両や農耕者の後部に貼りつけて使うもので、夕暮れ時や夜間の追突被害防止が期待できる優れたものです。

また、この日は電動シルバーカーを利用している高齢者も集まり、夜光反射材の効果を体験してもらいました。

～大人も子どもも反射材を使って交通安全～

12月1日(火)～10日(木)

冬の交通事故防止県民運動

スローガン

「外出は 明るい笑顔と 反射材」

お酒を飲む機会が多くなる年末年始。飲酒運転は絶対にやめましょう。また交通ルールやマナーを守り、交通事故を防ぎましょう。

①冬道用タイヤ装着の徹底

②飲酒運転の根絶

③スピードダウンの徹底

交通事故(10月分) 飲酒運転検挙者

人身事故 0件(28件)

(10月分)

死者 0人(1人)

10月はありませんでした。

負傷者 0人(30人)

物損事故 36件(370件)

1月からの累計 5人

()は1月からの累計

(対前年比 -3人)

人の動き

(平成27年10月末日現在)

人口 28,546人 (-17)
 うち男 13,484人 (-15)
 女 15,062人 (-2)
 世帯数 11,872世帯 (+3)
 出生 18人 (男5・女13)
 死亡 30人 (男13・女17)
 転入 62人
 転出 67人

火災・救急

(10月分)

火災出動 2件 (9件)
 救急出動 105件 (1,030件)
 () は1月からの累計

■空気が乾燥し、火災が起こりやすくなる季節です。暖房器具の使用時など、火の元の管理は十分に行いましょう。

慶弔

休日当番医

※広報発行後に当番医が変更になる場合があります。
 当日の新聞などで確認してください。

月	日	休日救急当番医 (午前9時～午後5時)	歯科当番医 (午前9時～正午)
12月	6日	松井内科医院 一戸町・☎33-2201	阿部歯科クリニック 福岡・☎25-4182
	13日	浄法寺診療所 浄法寺・☎38-2021	沢藤歯科医院 堀野・☎25-4002
	20日	菅整形外科皮膚科クリニック 石切所・☎23-7311	ほんだ歯科クリニック 石切所・☎23-9591
	23日	川村医院 福岡・☎23-3252	岩淵歯科医院 一戸町・☎32-2238
	27日	いちのへ内科クリニック 一戸町・☎33-2701	関歯科医院 浄法寺・☎38-2937
	30日	齋藤産婦人科医院 石切所・☎23-2505	右門歯科クリニック 浄法寺・☎38-2288
	31日	小原内科医院 石切所・☎23-3410	国香歯科医院 福岡・☎23-2223
	1月	1日	ふくもりたこどもクリニック 一戸町・☎43-3137
2日		藤田内科 浄法寺・☎38-2772	國香歯科医院 石切所・☎23-2764
3日		二戸クリニック 石切所・☎25-5770	菅原歯科クリニック 福岡・☎23-1180

「プレミアム付き商品券」の有効期限は12月31日(木)です!

※有効期限が過ぎた商品券は払い戻しできません。また、参加店舗でのアンケートにもご協力をお願いします。

問い合わせ先 (協) 二戸ポイントカード会 (☎22-1313)

「ワンコINにのへ」クーポン券は

12月31日(木)まで!お早めに!

※ただし、早期終了する場合があります。
 問い合わせ先 二戸若手料理人の会事務局・大沢 (☎050-3710-1972)

こちら編集室

いよいよ師走。ことしも残り少なくなってきた。サントさん、クリスマスは「劇的にいろいろなこと」がはかどる「齋藤」をください。(齋藤)
 先、ゆるい「コーヒーの美味しい淹れ方セミナー」を受講。また1つ、新しい世界が広がりました。皆さんの趣味や癒しはなんですか?? (小保内)

消防本部・二戸消防署



1

1 / [通信指令室] 免震床を採用し、大地震でも機能を維持。また最新鋭の位置探索システムを導入したことで、発信地を瞬時に特定できるように



2



3



4



5



二戸消防本部（目時栄消防長）は11月9日、金田一に移転新築された新庁舎の落成式を行いました。藤原淳市長は「最新鋭の設備を導入したことで現場到着までの時間短縮、後方支援の拠点となることを期待」と式辞。目時消防長は「環境の良い庁舎で更なる精進を誓う」と謝辞を述べました。その後、テーパーカット、救助訓練、庁舎見学会が行われました。

上／関係者によるテーパーカット 下／ロープブリッジ救出の実演

施設の中はど～なってるの?!!

子育て支援センター



1



2



3



4

1、2 / ホール。写真左側には掲示板として使える壁と、「お絵かきボード」が。また、壁の裏側にはおもちゃなどが片づけやすいロッカーを設置

完備の病後児保育室を備えました。また、各保育所で行われている一時的預かり保育も行う予定です。また、時間単位で個人や集団での託児を行う「ファミリー・サポート・センター」を立ち上げ、さらに



子育て支援なる子育て世代の支援につなげます。センターは12月1日、旧石切所保育所に移転します。これまでの「援助をお願いしたい方」と「援助できる方が会員となり相互に扶助する「育加え、調乳室 児支援ネットワーク」です。